

2022年7月吉日

お客様各位

笠原理化工業株式会社
埼玉県久喜市桜田 2-133-8
TEL：0480-38-9151
営業企画部

UV計用部品 価格改定のお願い

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は笠原理化工業株式会社製品をご採用下さいまして誠にありがとうございます。

さて、この度は弊社UV計光学系のオーバーホール価格に関しまして、見直しをさせて頂きたくご連絡申し上げます。

光学系オーバーホールの価格に関しましては、約3年前(2019年4月～)にも一度見直しをさせて頂きましたが、その後の度重なる新型コロナウイルスの拡散や昨今の社会情勢などにより、予想外に部品の仕入れ価格が高騰し、その上昇分を吸収することが困難となってまいりました為、大変心苦しい限りではございますが、再度価格の見直しをお願いしたく、下表の通りご案内申し上げます。

		新価格
光学系オーバーホール	UV-2000	現行価格より プラス¥40,000-
	UV-2700	
	UVTR-5000	現行価格より プラス¥30,000-

対象項目	現行価格	新価格
光源 水銀ランプ	¥65,000-	¥70,000-

尚、新価格への移行は2022年9月1日受注分からお願い申し上げます。

お客様各位にはご負担をおかけすることになり、誠に申し訳なく存じますが、何卒諸般の事情をご賢察の上、今後とも変わらぬご高配を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

また、光学系オーバーホールに際しまして採用しております「等価交換方式」についてですが、現地作業後にオーバーホール費用以外に**追加費用**が発生しご請求させて頂く場合がある事を改めてご理解頂きたくお願い申し上げます。(次頁ご参照)

『等価交換方式成立条件』

等価交換方式が成立する為には、お渡しする新設品とご返却して頂く既設品との間で等価性が維持されている必要があります。

等価交換方式の場合、新設品と“既設品+オーバーホール費用”は等価であるとの前提に立って新設品をお渡ししておりますが、実際に必要となる“オーバーホール費用”が、想定される範囲内で賄えない事（事例参照）が判明した時点で追加費用が発生致します。

【追加費用が発生する例】
① 既設品が旧型光学系である。
② 長期間オーバーホールが行われず部品の破損・劣化が進んでいる。
③ 弊社の関与しない保守・修理（改造）の結果、部品が再利用できない状態にある。

※既設品の早期ご返却にご協力ください。

敬具